

(前年同月比：%)			2025年							2026年							通期
			7月	8月	9月	10月	11月	12月	上期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	下期	
トライアル	既存店	売上高	101.4						101.4								101.4
		客数	97.5						97.5								97.5
		客単価	104.1						104.1								104.1
	全店	売上高	111.9						111.9								111.9
		新規出店数	5						5								5
		閉店店舗数	0						0								0
		全店舗数	357						357								357
西友	全店	新規出店数	0						0								0
		閉店店舗数	0						0								0
		全店舗数	245						245								245

概況コメント

(環境) 当月は、統計開始以降7月として最も平均気温が高くなり、猛暑が続きました。降水量が少なく、晴れの日が多くなりました。粗利上昇施策に伴い、来店頻度の低下が見られた一方、POPなど商品価値訴求の施策が奏功し、客単価は堅調に推移。50ヵ月連続で既存店売上高の成長を記録しました。

(商品) 生鮮や惣菜が底堅く支持されたことに加え、高気温が夏物季節商品の需要を喚起したことが、既存店売上高の成長をけん引しました。

食品は、グロスリーは、天然水やパックごはんが伸長しました。デイリーは、冷凍食品やアイスクリーム、卵が寄与しました。フレッシュは、「土用の丑の日」が土曜であったことも寄与し、うなぎ商品が好調に販売実績を伸ばしました。また、カットサラダや鶏肉、寿司や惣菜が貢献しました。

非食品は、殺虫剤やマスクが軟調となった反面、保冷や日よけ関連のレジャー用品、涼感シャツなどが好調でした。

(店舗) ・7月度の新規出店：5店 スーパーセンター：鹿屋上野町店(鹿児島県)、亘理店(宮城県)、三木店(香川県)、上毛店(福岡県)、掛川店(静岡県)

・7月度の閉店：0店 ・改装リニューアルオープン：1店

2025年7月1日に株式会社西友を完全子会社化したことに伴い、西友の全店舗数を追加しております。なお、西友の既存店及び全店売上高の前年同月比は、2026年7月度(2027年6月期)から開示予定です。

※ 売上高の前年同月比はPOSデータに基づいた速報値であり、決算数値と異なる可能性があります。

※ 概況コメント欄の天候は、トライアルの店舗が多く所在する福岡県を中心に記載しております。

※ 「グロスリー」は菓子類などの加工食品、「デイリー」は卵や乳製品などの日配品、「フレッシュ」は生鮮四品(青果・精肉・鮮魚・惣菜)、「生活」は日用消耗品などの家庭用品、「ハード」は家電製品などの耐久性商品、「アパレル」は衣料品を示しております。

※ 西友の既存店及び全店売上高の前年同月比は、2026年7月度(2027年6月期)から開示予定です。